

## 1-3

## 松本城歴代城主の基礎知識

1 次の松本城主の絵・肖像画等に城主名を下から選んで番号を記入しなさい。

- (1) \_\_\_\_\_②戸田光則      (2) \_\_\_\_\_④石川数正      (3) \_\_\_\_\_①堀田正盛  
 (4) \_\_\_\_\_⑤松平直政      (5) \_\_\_\_\_③戸田康長



(1) 戸田光則(みつひさ) これは肖像画で写真ではありません。  
 資料名は「光則公御肖像」松本城管理事務所蔵(博物館保管)  
 制作 明治14年(1882)4月6日 画家 五姓田甫  
 掛軸絹本極彩画 昭和61年戸田家より松本市へ寄贈  
 戸田家最後の松本城主



(2) 石川数正(かずまさ) <sup>ながしのかつせんずびょうが</sup>長篠合戦図屏風より(犬山市個人蔵)  
 初め徳川家康の家臣であったが1585年岡崎を出奔して秀吉のもと  
 にはしる。長篠合戦図屏風には石川<sup>やすまさ</sup>康昌と名前が書かれているが石川数  
 正のことである。このころは徳川方に属しており、家康の本陣近くに陣  
 を敷いている。天守2階の長篠合戦図屏風(複製)は徳川美術館蔵を原  
 本としており石川数正の具足は水色である。



(3) 堀田正盛(まさもり) 川越市個人蔵 「堀田正盛座像」  
 座像高さ22・0cm 江戸前期の幕府年寄。祖母は春日局。家光の  
 側近としてつかえ、川越3万5千石から1638年松本に10万石で転  
 封(松本で7万石・<sup>いたはな</sup>板鼻で3万石)。1642年<sup>しもづきのくにまくり</sup>下総国佐倉11万石に  
 転封。松本歴代藩主最大級の大名であった。



(4) 松平直政(なomas) <sup>げっしょうじ</sup>松江市月照寺蔵  
 平成15年小学校社会科副読本「わたしたちの松本城」編集のおり、  
 松江市月照寺より直政公の肖像写真のご提供いただき、以後松本城で  
 の使用をお許しいただいた。<sup>えちぜんおおの</sup>越前大野5万石より1633年松本に7  
 万石にて入封。5年後、<sup>うんしゅうまつえ</sup>雲州松江18万6000石に転封。



(5) 戸田康長(やすなが) 松本城管理事務所蔵  
 1567年家康の養妹松姫と結婚し、松平姓を賜る。<sup>みかや</sup>深谷1万石・白  
 井2万石・古川2万石・<sup>かきま</sup>笠間3万石・高崎5万石。1617年松本へ  
 7万石で入封。松本にて1632年死去。墓を<sup>たんぼづか</sup>丹波塚という。

2 各松本城主の紋と<sup>はいりょうだか</sup>拝領高等の表を完成しなさい。(採点は各大名横に2問正解で1点)

大名家	紋所	拝領高	前任地	転任地(移封先)
石川氏	[ア]	(8万石)	和泉国	改易(かいえき)
小笠原氏	①[ウ]	②(8万石)	飯田	明石
戸田氏	③[オ]	前④(7万石)	高崎	明石
		後 6万石	鳥羽	廃藩置県
松平氏	⑤[エ]	⑥(7万石)	越前大野	松江
堀田氏	⑦[イ]	⑧(10万石)	川越	佐倉
水野氏	⑨[カ]	⑩(7万石)	三河吉田	改易

 <sup>ささりんどう</sup> 笹龍胆  
石川氏(23年間)  
かずまさ やすなが  
1 数正 2 康長  
8万石

 <sup>さんがいびし</sup> 三階菱  
小笠原氏(4年間)  
ひでまさ ただかね  
3 秀政 4 忠真  
8万石

 <sup>はなれほし</sup> はなれ六星  
戸田氏(16年間)  
やすなが やすなお  
5 康長 6 康直  
7万石

 <sup>み ばあおい</sup> 丸に三つ葉葵  
松平氏(5年間)  
なおまさ  
7 直政  
7万石

 <sup>くろもちたて</sup> 黒餅豎もっこう  
堀田氏(4年間)  
まさもり  
8 正盛  
10万石 (内、松本分7万石)

 丸に花おもだか  
水野氏(83年間)  
ただよ だもと だなお  
9 忠清 10 忠職 11 忠直  
12 忠周 13 忠幹 14 忠恒  
7万石

 はなれ六星  
戸田氏(142年間)  
みつちか みつお みつやす  
15 光慈 16 光雄 17 光徳  
18 光和 19 光悌 20 光行  
21 光年 22 光庸 23 光則  
6万石

○石川氏 (1590~1613) 秀吉の権威を背景に家康を監視する城として松本城天守3棟を築く。

秀吉から拝領した<sup>ごしちのきりもん</sup>五七桐紋・<sup>じゅうにべんきくもん</sup>十二弁菊紋も使用

○小笠原氏 (1613~1617) 飯田より入封。

大坂夏の陣で秀政と<sup>ただなが</sup>長男忠脩が戦死。二男<sup>ただかね</sup>忠真が跡を継いだ。紋は三階菱、はだか<sup>さんかい</sup>三階ともいう。

○前戸田氏 (1617~1633) 高崎より入封。戸田康

長の子永兼は病弱で40歳で松本で死去。弟康直が後を継ぐが1633年明石に転封となり1634年急死。

紋は「はなれ六星」この紋を「六曜」と誤っている人いるが紋の分類では「六星」に入る。



「六星」は図のように同形の円が互にくっついているが、それが離れているので「はなれ六星」という。

○松平氏 (1633~1638) 将軍家光の従兄弟、御家門大名(徳川将軍家一族で御三家、御三卿以外の大名をいう)。紋は「丸に三つ葉葵」

○堀田氏 (1638~1642) 拝領高10万石(松本で7万石・板鼻一中山道板鼻宿付近で3万石)紋は黒地に縦にした木瓜で「<sup>もっこう</sup>黒餅豎木瓜」という。

○水野氏 (1642~1725) 松本藩領内総検地を実施する等藩政を確立した。忠恒の時江戸城で刃傷ぎたを起し改易される。紋は「丸に花おもだか」

○後戸田氏 (1726~1871 廃藩置県) 6万石で鳥羽より入封。<sup>みのかのう</sup>美濃加納時代に領主<sup>みつなが</sup>光永が弟、光正と光直に5千石ずつを分知したため、以後6万石。

水野氏と後戸田氏との差1万石は幕府領となった。